

〈 校訓 〉



切磋琢磨

学校教育目標 : 心豊かでたくましく生きる子
めざす子ども像 : 自ら学ぶ子・思いやりのある子・明るく元気な子
今年度は特に : 命を守りきる行動がとれる子



新年あけましておめでとうございます

今年のお正月は、12月30日夜から降った雪で、一面の銀世界。お日さまが輝いてとてもきれいでした。

2021年 新しい年の始まりです。2021年度は、本校創立140周年(10月23日)を迎える嬉しい年でもあります。

残念ながら、新型コロナウイルス感染症拡大の心配が高まっていますので、がまん強く感染症予防策を継続しつつ歴史と伝統のある本校の教育活動を「今できることを精一杯に」取り組んでいかなばと職員一同、心を一つにがんばる所存です。保護者の皆様、地域の皆様、今年度もご支援ご協力をどうかよろしくお願いいたします。

「ありがとう」の3学期に！

校内テレビ放送で行った4日の始業式では、念頭にあって全校の子どもたちに次の二つの話をしました。

(1) 「ありがとうの3学期」にしよう

2学期の終業式に校長先生からのミッションを皆さんに伝えました。「冬休みは毎日おうちの人に『ありがとう』を伝えよう」です。おうちの人が家族のためにしてくださっていることに気付いて、自分の言葉で「ありがとう」を伝えるというミッションです。どうでしたか？ みんなの「ありがとう」を聞いて、おうちの人は、にっこり笑顔になられたでしょう。そうなんです。実は、子どもの「ありがとう」は、大人を笑顔にする魔法の言葉なんです。「おばあちゃん、〇〇してくれて、ありがとう」のように名前を入れて伝えると効果抜群です。おうちの方も、小学生の皆さんが、元気に毎日過ごせるように一生懸命です。自分の周りの人がしてくれていることに、「ありがとう」と言えることがいっぱいあることに気付けた人、素晴らしいです。いよいよ今日から3学期が始まります。1年間で成長した自分に気付くとともに、いろいろな「ありがとう」を学校でも見つけて伝えましょう。

- ① 人に(学級・学年の友達、集団登校やたて割り活動などの違う学年の友達や先生、学校生活を支えてくださっている方等)
- ② 物に(使わせていただいた学校の机や椅子、教室、大切に使ってきた文房具、等)

(2) 「誠実さ」を磨こう

先生になって今年で38年目。今まで、たくさんの子ともと出会ってきました。その中で見つけたことがあります。素敵に大人になるために、素敵な人生を生きていくために、「小学生のうちに必ず身に付けてほしいもの」です。それは「誠実さ」(せいじつさ)です。では、「誠実」って、どんな姿、どんな心のことを言うのでしょうか。

- 「一生懸命」に、今すべきことをする姿 (まじめは 大事)
- 思いやりのある姿、 本校が大事にしている「やさしいころ」 真心を尽くす姿
- 「ごめんなさい」が言える姿 自分が間違っていると気づいたら、謝れる心 相手を敬う心
- ルールやマナーを守る姿 (それぞれ、例を挙げて伝えました)

能登川東小学校の子どもは、純朴で誠実なところが魅力だと感じています。みんなが持っているのですよ、「誠実さ」の種を。その種を、小学校にいる間に、磨いて、育てていくのです。そうして、6年生になると、どの子どもが、「純朴で誠実」という魅力がいっぱい持って卒業していきます。今年の卒業式は3月19日、修了式は3月24日です。

(校長 井上 照美)